

宮城県交通安全母の会だより

令和7年3月

第62号

発行所

宮城県交通安全母の会連合会
(〒980-8570)
仙台市青葉区本町三丁目8番1号
(宮城県企画部地域交通政策課内)
TEL 022-211-2438

会長挨拶

宮城県交通安全母の会連合会
会長 佐々木 和恵



はじめに、宮城県交通安全母の会連合会会員の皆様におかれましては、お健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

会員の皆様には、コロナ禍の大変厳しい状況の中「交通安全は茶の間から」をスローガンに年間を通して交通事故防止に取り組み、地域の安全、安心な街づくりに御尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

また、平素から県警並びに地域交通政策課職員の皆様方には総会をはじめ高齢者交通安全教育指導者研修会や母の会主催のリーダー研修会では心温まる御指導を賜り、充実した研修会となりましたことにも衷心より厚く御礼を申し上げます。

さて、県内の交通情勢につきましては人身事故の件数は減少傾向にあります、高齢者が関与した死亡事故は依然として高い割合で推移しており、飲酒運転根絶にも力を入れていかなければならない状況にあります。

つきましては、高齢者世帯訪問を通して交通ルールやマナーの徹底や反射材を身につけるなどの声掛けにより、自分の身は自分で守るという意識を高める啓発活動と飲酒運転根絶活動を今後も粘り強く進めていただきますようお願い申し上げます。

私たち交通安全母の会は今後も「命」を守る活動に使命感を持って進めてまいります。

結びに、会員皆様の御健勝と御活躍を御祈念申し上げます。

宮城県知事表彰受賞者紹介 (敬称略)

多年にわたる母の会の活動をはじめ交通安全活動への多大な貢献により知事から表彰されました。

文化の日表彰

〔交通安全功労者〕

三 橋 容 子 (多賀城市)



交通安全功労者等表彰

〔交通安全功労者〕

竹 田 英 子 (仙台市) 大 友 いち子 (名取市)
遠 藤 八千代 (多賀城市) 佐々木 静 江 (松島町)

宮城県交通安全母の会連合会長表彰 受賞者紹介 (敬称略)

多年にわたり、母の会の活動に従事し、交通事故防止活動に貢献された方が母の会連合会長から表彰されました。

千 葉 知 子 (塩竈市) 三 浦 藤 子 (多賀城市)
中 村 多喜子 (登米市) 氏 家 寿 重 (亶理町)
高 橋 まり子 (涌谷町)

高齢者交通安全ふれあい世帯訪問事業



加美町交通安全母の会連合会の
高齢者交通安全ふれあい世帯訪問

「こんにちは、交通安全母の会です。お世話様です。夕暮れが早くなってきたので、外出する時は気をつけてください。」「オレオレ詐欺や不審な電話にも気をつけてね。」

加美町交通安全母の会は、10月から2月に高齢者のお宅を訪問して、交通安全や防犯の呼び掛けをしています。

11月初め、私の地区でも会長さんが用意してくれた名簿と啓発品を持って、2人一組になって60件を訪問しました。訪ねていくと、「私ももう高齢者になったのね。

視力も運動神経も落ちているから運転には気をつけますね。」と会話がはずみます。初めて参加した役員さんも、地域の方といろいろなお話ができ楽しく活動できました。

あらためて高齢者の交通安全を呼び掛ける訪問をしてよかったと、大切さを感じました。また私達も事故を起こさないような行動をとらないと、と思った一日でした。

(加美町 木村和子)



高齢者の方とも会話が弾みます

東北ブロック交通ボランティア等講習会 (山形県)

内閣府主催の令和6年度交通ボランティア講習会が、11月20日にホテルメトロポリタン山形で開催されました。宮城県からは県連合会長佐々木和恵(塩竈市)、副会長熊谷安子(登米市)の2人が参加しました。

午前には講師の宮田美恵子氏から、交通安全教育の効果的指導方法、交通ボランティアの育成と活性化。彦坂誠氏から、自転車の安全利用について講演があり、私達の活動で見落としがちな点も多数あり、大変興味深く勉強になりました。午後は東北6県の活動発表に入り、宮城県からは連合会全体の活動、加美町の年間を通じた実践活動を紹介しました。それぞれの県とも地域に密着した特色のあるもので、今後の活動に生かしていきたいと思います。

(副会長 熊谷安子)

リーダー研修会



テーマ毎に分かれてグループ討議

交通安全母の会連合リーダー研修会は、12月3日(火)宮城県行政庁舎201会議室にて開催されました。

会長・事務局挨拶の後、東北ブロック交通ボランティア等講習会の受講報告→各テーマに沿ってのグループ討議が熱く積極的に行われました。→交流会→討議内容発表→意見交換と進められました。

多忙な中、各市町村から会長・事務局と共に参加。高齢者事故の多さと今後の自転車の交通法の罰則強化等の実態を確認しました。



各グループから討議内容の発表

交通事故発生状況

令和6年中の県内の交通事故発生状況は、発生件数と死者数は前年から減少しましたが、死者数に限っては前年同数となりました。特に、65歳以上の高齢者の交通事故死者が前年比7人増で、交通事故死者全体に占める割合は約6割と前年の約4割から大きく増加しました。

【交通事故発生状況】

(単位:件、人、%)

区分	発生 件数	死亡事故		負傷者		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
令和6年	3,785	47	47	444	4,121	4,565
令和5年	4,033	44	47	463	4,469	4,932
増減	数	-248	+3	±0	-19	-348
率		-6.1	+6.8	±0.0	-4.1	-7.8

講評では、事務局次長から交通事故加害者のダメージ→6つの宝を失くす(1.命 2.家族 3.仕事 4.社会的信用 5.免許 6.お金)の話があり、“なるほど”と印象に残りました。学んだ事等各地域にて復命してまいりたいと思います。

(丸森町 穴戸京子)

飲酒運転根絶啓発活動紹介



仙台中央警察署と合同で飲食店街をパレード

仙台中央地区母の会は、東北一の繁華街である国分町がエリア内にあり、継続して飲酒運転根絶の活動に取り組んでいます。

これまでに参加した飲酒運転根絶総決起大会では、加害者と被害者がともに命を落とした飲酒運転事故により、遺された加害者の妻が幼い子ども二人を道連れに命を絶った「日高の遺書」を題材とした寸劇を行い、飲酒運転の悲惨さを訴えました。

その他に飲酒運転事故で子どもを亡くした方の講演や、仙台育英学園高等学校の生徒3人が犠牲になった事故を風化させないための書道部のパフォーマンスがありました。

令和6年度は、飲酒の機会が多くなる12月に仙台中央警察署と協力して、「飲酒運転はしない!させない!許さない!」と大きな声で呼び掛けながら飲食店街をパレードしました。

飲酒運転は、被害者はもちろん加害者も不幸になります。これからも交通安全は家庭からを胸に活動を進めてまいります。

(仙台中央地区 丹野啓子)



飲酒運転は
しない!させない!許さない!

地区連協議会活動紹介

仙台地区連絡協議会

11月15日、利府町文化交流センター「リフノス」において、地区連会員や町民約100人が参加して、令和6年度の仙台地区連絡協議会研修会を開催しました。



研修会の様子

県警交通企画課の沖課長補佐から「安全運転のための知識」と題して、スマホを活用した交通情報の検索等の視点を変えた興味深い御講話をいただいた後、利府町母の会から町の指導車の拡声器を活用した巡回広報活動や会員が作成した交通安全グッズを配布しての高齢者宅訪問活動等の活動事例を紹介しました。

また、特別ゲストのポーリー氏家さんによる交通安全マジックショーでは、ユーモアあふれるトークと熟練したマジックで笑いながら楽しく交通安全を学ぶことができました。



交通安全マジックショー

最後に「交通安全宣言」を読み上げ、充実した母の会活動の継続を確認し合いました。

今後も、こうした有意義な研修会等を通して、交通安全の輪をもっともっと広めていきたいと思います。

(利府町 由野八重子)

仙南地区連絡協議会

仙南地区連絡協議会の研修会は、10月25日(金)、旧村田第三小学校体育館で開催されました。



大河原警察署交通課の講話

秋晴れの善き日に村田町中央公民館に仙南各市町村集合の後、研修会講話会場に移動。大河原警察署交通課の鈴木係長から交通情勢の講話を頂きました。

パワーポイント画像を見ながらの分かり易いお話でした。その後、町内外の癒しとなっている燃虎座観劇となりました(昼食と共に)。歌舞伎より派生し日本伝統文化の観客本位の中高年の華と夢とストレス解消とされています。最後に道の駅村田に移動

してお買い物。参加会員には工芸品竹ボールペンを土産に配布、再び中央公民館に戻り解散となりました。

交通安全現状の勉強と共に心の癒し、会員親睦、地元村田町の活性化と仙南会員の皆様、村田町様お世話になりました。企画実施担当は丸森町でした。ご協力ご参加ありがとうございました。

(丸森町 穴戸京子)



燃虎座観劇

大崎・栗原地区連絡協議会

大崎・栗原地区連絡協議会では、11月7日(木)、色麻町を会場に研修会を開催し、76人の会員が参加しました。



研修会には76人の会員が参加

研修会では、加美警察署生活安全課の今野さんから「防犯対策～特殊詐欺、あなたは大丈夫?～」と題して昨今の特殊詐欺についてオレオレ詐欺やロマンス詐欺、

また新しい手口など実例を踏まえた話を沢山していただきました。“私に限って”などと、他人事と思わず日々注意を払って、詐欺から自分の財産を守ってほしいものです。

次に、リフレッシュタイムで「健康は、交通安全の基本の「き」!」と題してアロマを使った健康体操がありました。ラベンダーの香りが会場を包み、体を動



加美警察署生活安全課から防犯対策の講話

春の交通安全県民総ぐるみ運動

期 間 令和7年4月6日(日)から4月15日(火)までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(木)

運動の重点

- ① こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- ② 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- ③ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底



かし、心身共にリラックスできた時間でした。

最後に、おみやげとして色麻町特産のエゴマオイル「魔法の油」、エゴマのお菓子三種の詰め合わせなどが、「止まれ」の標識があしらわれているエコバックに入っており、大変満足のいく研修会でした。

(色麻町 佐々木伸子)

登米・本吉地区連絡協議会



気仙沼魚市場施設見学

11月25日(月)、気仙沼市において当協議会の研修会及び豊齢教室を開催しました。

研修会は施設見学として気仙沼魚市場と水産情報等発信施設を訪問し、

県内でも誇る漁港の1つ、気仙沼港の復興を実感しました。

豊齢教室は市民健康管理センターへ移動し、講師に気仙沼警察署伊東交通課長にお越しいただき、高齢者や冬季の交通安全対策等について講話を聴きました。

次に登米市南方地区が活動発表を行い、年間の活動内容に今年度新たな取り組みとして北宮城自動車学校のご協力をいただき、一時停止の重要性を受講したことを報告しました。



市民健康管理センターに会場を移して豊齢教室

その後、南方地区の報告を受けて各地区との情報交換会では様々な意見や感想が寄せられ、とても有

意義な会となりました。

(登米市南方町 佐藤裕子)

石巻地区連絡協議会



市内保育所への訪問

石巻市交通安全母の会では、令和6年度も交通事故を減らすために、様々な活動を行ってきました。

11月中旬には市内保育所を訪問し、交通安全の大切さを楽しく学んでもらうため、紙芝居や啓発グッズのプレゼントを活用して、横断歩道の渡り方や信号のルールについてお話をしてきました。

また、市外の新規道路・施設を見学し交通状況を把握するための視察研修や、飲酒の機会が増える年末年始の忘年会・新年会シーズンに向けた、飲酒運転根絶キャンペーン活動

(チラシや啓発グッズの配布等)を行いました。

交通事故は、わずかな注意不足や交通ルールの無視により引き起こされ、本人だけでなく家族や周囲の人々の生活も一変させてしまいます。今後も「交通安全は茶の間から」を合言葉に、交通事故のない明るい社会を目指して引き続き活動を続けてまいります。

(石巻市 堀川恵美子)



飲酒運転根絶キャンペーン
(ヨークベニマル石巻蛇田店・DCM石巻蛇田店)

第32回 あなたもチャレンジ! 無事故無違反

セーフティ123

あなたもチャレンジ! 無事故無違反「セーフティ123」は、3人チームで参加し、123日間の無事故無違反を目指し、交通安全意識の向上を図ることを目的に実施しているキャンペーンです。

無事故無違反達成チームには、抽選で素敵な賞品が当たりますので、職場の仲間、家族、友達、ご近所さんを巻き込んで、ふるって参加しましょう。

○募集期間 令和7年5月1日～令和7年6月14日

○チャレンジ期間 令和7年6月15日～令和7年10月15日(123日間)



お問い合わせ みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会事務局(宮城県企画部地域交通政策課内)
TEL: 022-211-2438